

専門委員会開催報告

専門委員会名	第5回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他()
開催日時	2021年11月2日(火)10:00~12:00
開催場所	Web会議(zoom)
参加人数	5名 勝村主査, 高木幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 唐澤幹事
議事	<p>第2回本委員会の内容について議論し、下記を確認した。</p> <p>1. 調査方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三輪幹事、逢坂幹事(欠席のため資料のみ)、唐澤幹事より資料に基づき調査内容案を紹介した。 ・ 高木幹事より調査内容について紹介、和田幹事は、高木幹事担当のTEPCO/IRIDの資料調査に協力することとしている。 ・ CLADS関連で「TCOFF」を調査対象とするか検討して欲しいとの要望あり。 ・ 拡大幹事の人選は担当幹事一任だが、場合によっては公募も可とした。 ・ 調査結果のまとめのフォーマットは、ある程度調査をしてから、幹事間で議論し、次回委員会までに決めることとした。 ・ 委員会用に資料を11/4中に三輪幹事に送付すること。 <p>2. 委員内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開会の挨拶(勝村主査) ・ 講演(TEPCO 平井氏) ・ 調査方針の全体像を第一回委員会資料「本院会の目的と進め方」の改訂版で説明(唐澤幹事) ・ 調査方針の説明(各幹事) ・ 進行は三輪幹事で、議事録作成は和田幹事とする。 <p>3. 企画セッションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 唐澤幹事より講演として、「2号機PCV内線量率分布評価」(JAEA 奥村氏)と「除染における課題」(花王 牛尾氏)の提案あり。 ・ 奥村氏には内諾を得ているが、牛尾氏はこれから依頼。 ・ 司会は、これまでの実績を踏まえ高木幹事に依頼。 ・ 来週前半に案をまとめ幹事に回覧することとした(担当唐澤幹事)。 ・ 開催日を廃炉委員会と水化学会と重複しないように学会に依頼する。 <p>4. 来年度予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度のコロナ禍は予測できないが、予算範囲内で一応会議室分を予算化しておく。 ・ 案を作成し幹事に回覧することとした(担当三輪幹事)
備考	なし

2021年11月24日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第4回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他()
開催日時	2021年10月15日(金)10:00~12:00
開催場所	Web会議(zoom)
参加人数	6名 勝村主査, 逢坂幹事, 高木幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 唐澤幹事
議事	<p>第2回本委員会の内容について議論し、下記を確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 平井氏の講演タイトル<ul style="list-style-type: none">・ 「福島第一原子力発電所 PCV 内部調査関連サンプル等の分析結果と考察」・ 講演資料を 11/2 までに送付いただく。2. 調査方針<ul style="list-style-type: none">・ 調査対象、拡大幹事について議論し、拡大幹事会の担当幹事を下記とすることにした<ol style="list-style-type: none">① 1F 廃炉作業 (TEPCO/IRID) ; 高木幹事、和田幹事② 1F 廃炉作業 (JAEA/CLADS) ; 逢坂幹事③ ソースターム予測技術 ; 唐澤幹事④ ロードマップ・海外研究 ; 三輪幹事・ 拡大幹事会のメンバーは担当幹事に一任する。・ 次回幹事会までに、和田幹事提案のフォーマットをベースに調査対象を検討する。3. 企画セッションについて<ul style="list-style-type: none">・ 開催の是非について議論した。・ 「活動方針」の紹介だけでなく、講演も検討する。・ 次回、幹事会で再度議論する。
備考	次回幹事会:11/2(火)、10:00~11:00を予定 議題:第2回本委員会進め方の確認

専門委員会開催報告

専門委員会名	第3回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他()
開催日時	2021年9月17日(金)10:00~12:00
開催場所	Web会議(zoom)
参加人数	6名 勝村主査, 逢坂幹事, 高木幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 唐澤幹事
議事	<p>11/5の第2回本会議に向け、議題である1)講演内容、および、2)今期の活動方針につき確認した。このうち、2)については調査活動を主体とするが、次回委員会では各データベースの調査計画を説明し、特に東京電力HD公表データの調査計画について具体的に説明することとした。</p> <p>1. 第2回本会議の講演概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京電力HD廃炉推進カンパニーの平井氏に、特にデブリ性状調査に関するこれまでの成果につき、既存資料をもとに講演して頂くこととした。 ・ すでに同氏には依頼済みであり、40分程度の報告をして頂く予定である。 <p>2. 今期の活動方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京電力HD公表データの調査計画については、高木幹事より、平井氏、および、本店原子力運営管理部・宮澤氏に、廃炉推進カンパニー関係者の紹介を依頼した。9/27に別途打合せを行う予定である。 ・ データは主に東京電力HDのHPに「公表資料」として公開されており、①燃料デブリ、②汚染水、③廃棄物の分野につき、調査を行う。 ・ 研究専門委員会としての調査方針(課題抽出、RM策定)を明確にし、東京電力HDの協力を仰ぐ。 ・ 調査に当たっては拡大幹事を募ることとし、次回幹事会に各幹事より案を持ち寄ることとする。 ・ 第2回本会議では、この他のデータベースについても調査方針の概略を説明する。 <p>3. 第2回本会議開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日:11/5(金)13:30~ ※10月上旬に開催案内を送付予定 ・ 議題: <ul style="list-style-type: none"> 1)燃料デブリ性状調査の最新知見(ウラン含有粒子の分析結果)について(仮題)(東京電力HD廃炉推進カンパニー・平井氏) 2)研究専門委員会の今期活動方針(幹事)
備考	<p>次回幹事会:10/15(金)、10:00~11:00を予定</p> <p>議題:第2回本会議の進め方、拡大幹事の選定案</p>

2021年9月8日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他()
開催日時	2021年8月24日(火)15:00~16:00
開催場所	Web会議(zoom)
参加人数	7名 勝村主査, 逢坂幹事, 高木幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 唐澤幹事, 平井氏
議事	<p>第2回本委員会の内容を議論した。この2年間は調査を行うが、第2回本委員会は「TEPCO 成果」を中心に調査を行う。このため、TEPCO 平井氏に協力をお願いした。平井氏を含めた幹事会で下記を確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">本委員会の概要を平井氏に説明<ul style="list-style-type: none">第1回本委員会で用いた資料「本委員会の目的と進め方」を平井氏に説明し、本委員会の目的などを理解いただいた。本委員会の調査にご協力いただけることになった。TEPCO 資料調査方針<ul style="list-style-type: none">TEPCO のデータについては、①燃料デブリ、②汚染水、③廃棄物のそれぞれの分野で、どのデータベースにアクセスすれば良いか、どなたにコンタクトすれば良いかを、平井氏にご検討頂く。高木幹事の方でも、TEPCO 廃炉推進カンパニー、原子力運営管理部の面識のある方に接触し、レクチャーを依頼する。その上で、拡大幹事を決定して、具体的な調査項目、調査スケジュールを計画する。これらの調査方針について、第2回委員会で報告する。第2回本委員会開催について<ul style="list-style-type: none">開催日:11/5(金)13:30~ (11/4(木)13:30~が次候補)平井氏に、燃料デブリ性状調査の観点から、ウラン含有粒子の分析結果に関する最新の知見につき、情報提供して頂く。
備考	次回幹事会:9/17(金)、10:00~11:00を予定 議題:第2回本委員会進め方の確認

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他()
開催日時	2021年7月27日(火)10:00~11:00
開催場所	Web会議(zoom)
参加人数	6名 勝村主査, 逢坂幹事, 高木幹事, 和田幹事, 三輪幹事, 唐澤幹事
議事	<p>・本委員会の進め方に関し、第1回本委員会(7/9開催)での議論を受け、幹事間で下記認識を共有した。</p> <p>1. <u>本委員会の目標</u></p> <p>・「FP 挙動」に軸足を置き、「目標 1;1F 廃炉作業への貢献」(事故後)と「目標 2;ソースターム予測精度向上」(事故中)の両輪を目標とする。</p> <p>・本委員会でコメントのあった「新規制基準対応」や「人材育成対応」についても、本委員会活動の中でどう位置付けるかを検討していく。</p> <p>2. <u>本委員会の成果</u></p> <p>・最初の2年間は、1F 廃炉作業に係る下記3の調査を行い、上記目標を達成するための課題を抽出し、前委員会で抽出した技術課題との位置付けを整理した上で、それら課題解決に向けた大まかな道筋を示す。</p> <p>・課題選定に当たっては、前委員会で抽出した「実験」「解析」「技術課題抽出」の各WGで抽出した技術課題との整合を図る。</p> <p>・目標2に関しては、実機調査で得られる情報が事故シナリオ特定やSA解析モデル精度向上に役立つような課題設定とする。</p> <p>・委員会設置期間延長後の2年間は、上記目標を達成させるために抽出した課題を解決するために必要な研究や技術を検討して、ロードマップを作成する。</p> <p>3. <u>主な調査対象(案)</u></p> <p>・1F 廃炉に係る作業・研究開発</p> <p>・国内外のSA関連プロジェクト</p> <p>・国内外の研究開発ロードマップなど</p> <p>4. <u>本委員会の進め方</u></p> <p>・担当幹事が委員会の議題・講演者を決め、議題関連の調査を幹事及び拡大幹事を指名して行う。</p> <p>・最初の2年間は調査対象が多岐のためWGは設置しない。ただし、課題特定後は必要に応じてWGを設置し、ロードマップ策定等の作業を実施する。</p>
備考	<p>次回幹事会;8/24(火)、10-11</p> <p>議題;第2回本委員会議題、調査内容など</p>

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会
会議種別	<u>本会議</u> 幹事会 メール審議 その他*()
開催日時	2021年7月9日(金)10:00~12:00
開催場所	Zoomによるweb会議
参加人数	41名 勝村主査, 高木幹事, 逢坂幹事, 唐澤幹事, 三輪幹事, 和田幹事, 他
議事	<p><u>1. 主査挨拶 (勝村主査)</u></p> <p>本研究専門委員会では、まずは全体会合にて取組の方向性等を議論する予定であり、委員の方々には積極的なご意見をお願いしたい旨の挨拶がなされた。</p> <p><u>2. 講演「2021年度 廃炉・汚染水対策事業について」(中野委員)</u></p> <p>本専門委員会での研究課題を議論するために廃炉・汚染水対策事業をご紹介いただいた。本事業は、三菱総合研究所と原子力損害賠償・廃炉等支援機構が共同事務局となり運営されている。「試験的取り出し・段階的取り出し規模拡大」「燃料デブリの取り出し規模の更なる拡大」「廃棄物対策」の3つの大テーマと11の小テーマに分類されており、採択審査会を経たものが事業として実施されている。これらの各テーマについて中長期計画が策定され、今後の1F廃止措置に必要な研究開発が検討されている。成果はIRIDや本事業のHPに公開されている。</p> <p><u>3. 1F廃止措置に係る計画について(唐澤幹事)</u></p> <p>「4. 委員会の進め方について」の議論を行うための参照情報として、1F廃止措置等のための中長期ロードマップに関する情報を共有した。なお、本委員会での議論対象として、核分裂生成物の他、トリチウムも含めるものとする。</p> <p><u>4. 委員会の進め方について(全体討議)</u></p> <p>本委員会の進め方について議論を行った。本委員会の目指すところとしては、「1Fに係る技術知見に基づき、軽水炉のソースタームの研究課題を明らかにすることを通じて、1F廃炉の推進及び軽水炉の安全性向上に貢献する」ことを案とし、今後も幹事にて議論・検討していくこととした。また、これに合わせ、本委員会の成果も継続的に議論を進めていくが、昨年度までの「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会から抽出した課題に対して解決策への道筋をつける必要があること、SA中の挙動か、SA後の挙動かを明確に区別して検討する必要があること、等の委員からの意見を考慮する。これらを踏まえ、委員会の進め方としては、まずはWGを作成せずに、幹事会に関連委員を加えて議論を深める等、機動的に議論を深めていけるようにするものとし、その体制案を幹事で議論・検討していくこととした。</p>
備考	無し